

第6回久留米市コミュニティ審議会 会議録要旨

- 日 時 平成24年8月21日（火） 9時30分～11時30分
 - 場 所 えーるピア久留米210・211研修室
 - 出席委員 古賀（倫）委員、満岡委員、溝口委員、竹村委員、下川委員、松田委員、有馬委員、井手委員、湊本委員、宇野委員、中野委員、佐藤（理）委員、古賀（慶）委員、村井委員、江良委員、吉丸委員、佐藤（光）委員、吉田委員（18名）
 - 欠席委員 古賀（桃）委員、岡委員、池田委員、今村委員、高山委員、伊崎委員
 - 次第及び議事内容
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 委員の交代について
 - 4 議事
 - (1) 第5回審議会について
 - ① 会議録（案）について
 - ② 会議録要旨（案）について
《原案どおりです承》
 - (2) 校区コミュニティ組織の活性化及び協働の推進について [諮問事項]
 - ① 中間答申（確認）について
 - 1 校区コミュニティ組織との協働の推進について
 - (1) 校区コミュニティ組織と市の協働推進について
 - (2) 校区コミュニティ組織と市民公益活動団体の協働推進について
- 【主な質疑応答】
- （会 長） 中間答申の文章について、久留米市全体の答申の形式を踏まえた上で、事務局と調整し、見出しがある方がわかりやすいと判断し、見出しをけている。[諮問事項全体]
 - （会 長） 諮問事項の「校区コミュニティ組織との協働の推進について」中間答申は現在の内容で確認いただいたということで、次回の審議会で市長に手交する。[1-(1)、1-(2)]

(3) 校区コミュニティ組織の機能強化について [2-(1)]

【主な質疑応答】

- (会 長) 前回の議論で役員と事務局をしっかりと位置づけてほしいということ、「校区まちづくり活動計画」を校区の集大成として位置付けることを踏まえ、答申骨子案の順番を変更している。[2-(1)]
- (委 員) 市は校区コミュニティ組織あるいはまちづくり振興会の位置付けを公的に考えているのか。校区コミュニティ組織に公に近い仕事をさせているのに、校区住民の名簿の提供もできないという。答申骨子(案)で情報の共有化とあるが、名簿の提供もできないようで校区コミュニティ組織の活性化につながらない。[2-(1)]
- (事務局) 校区コミュニティ組織の位置付けは、久留米市校区コミュニティ組織の登録に関する規則に位置付けられている組織である。法律上の団体としては、法人格なき社団、権利能力なき社団に分類される。個人情報保護の観点から名簿の提供はできない。自治会活動として名簿の作成も取り組んでいただきたい。[2-(1)]
- (委 員) 校区住民の名簿はデータではなく、紙ベースでよいので提供してほしい。[2-(1)]
- (会 長) 個人情報の保護と情報の共有については、全国的な問題である。すぐには対応できないことである。全国的な議論が進む中で改善されていくのではないか。[1-(1)]
- (委 員) 校区コミュニティ組織と自治会の図に関しては、旧公民館連合会と自治会連絡協議会という二つの組織が校区内に存在するような誤解を与えるので削除をお願いしたい。[2-(1)]
- 16ページの文言「内部組織である部会内や校区内の自治会」とあるが「校区内」は必要ないのではないか。
- (会 長) 図は削除する。文言については事務局と検討したい。
- (委 員) 答申とは市長に行うものであり、校区コミュニティ組織に対して「〇〇されたい」という表現はおかしいのではないか。[2-(1)]
- (事務局) 表現を検討したい。

(4) 行政支援のあり方について [2-(2)]

【主な質疑応答】

- (委 員) 事務局の説明は現状を説明しただけである。具体的な支援のあり方を説明してほしい。[2-(2)]
- (会 長) 具体的な支援のあり方については、この審議会で検討してほしい。
- (委 員) 目的別補助金のため、担当課が異なり、事業ごとに申請しなければな

らず、書式も異なっている。目的別・団体別の補助金が相当数がばらばらにあるので、交付申請から実績報告まで一括して受付できるように、窓口の一元化、組織の一体化を行ってほしい。[2-(2)]

- (委員) 自治会に対する補助金の基礎が住民基本台帳の数字になっている。自治会加入促進の努力に関係ないものなので、改善してほしい。
- (委員) 校区コミュニティ組織が立ち上がり、校区単位で活動を行うということになっているが、現在でも町単位に補助金がきている。町単位で交付されている補助金はいつから交付されなくなるのか。今後どのようなのか市の方針を明確にしてほしい。
- (委員) 環境衛生連合会については、補助金がカットされていくが、自治委員はそのような中で今までどおり協力しなければならないのか。予算は毎年カットされていく。
- (委員) 旧町で一番問題なのは、平成26年度までに拠点施設を整備すること、中期的な校区計画を立てていくことである。市職員などの人的支援をお願いしたい。
- (委員) 旧町地域と旧市地域では考え方に若干の違いが生じている。未加入校区は久留米市校区まちづくり協議会に参加いただき、議論することで情報の共有化を図っていきたい。

5 その他

○次回委員会日程：9月18日（火）14時から